公明党
永尾　邦忠　議員

問　トータル的考察による空き家対策について

Q　本市の空き家の状況は。

A　市で調査した結果、平成29年3月末で552件の空き家があり、そのうち481件は一部改修等により利活用できる物件であった。人口減少に伴い、今後も空き家は増加すると予測している。

Q　UIターンや低所得高齢者への活用促進、不動産・建築業界との連携の状況は。

A　UIターン促進のため昨年11月から島原市空き家バンク制度を実施。これまでに19件の問い合わせがあり、4件の空き家を登録、そのうち2件で契約が成立している。低所得高齢者対策としては実施していないが関係団体等と協議したい。

問　義務教育の給食費一部負担について

Q　本市の一カ月の給食費は小学校が4千円、中学校が4700円ということだが、500円程度を市で補助することはできないか。

A　新たに年間約1650万円の予算が必要となり、財政的に難しいと考える。

Q　具雑煮やフグ料理、多比良ガネ、ジオアワビなど、郷土の料理や食材は給食で提供されているのか。

A　具雑煮はほとんどの学校で提供しているが、アワビ・ガネは使用されていない。

問　医療と補助について

Q　今回、人工内耳体外機の買い替え費用助成3人分の補正予算がついたが、今後、電池の交換費用の助成についても予算化ができないか。

A　県で今回の補助制度がつくられる際、県と市町の協議の中で電池代や修理費の助成も議論されている。財政状況等を考慮しながら検討する必要がある。

【その他の質問項目】
◇各種制度の変更について

庶民の会
林田　　勉　議員

問　目指そう「日本一の島原！」プロジェクトで活性化（地域おこし）はどうか

Q　現在、島原の日本一には何があるのか。

A　日本一小さい陥没湖の白土湖、日本一新しい山の平成新山、舞岳の8888段などがある。

Q　島原は湧水のまち。まずは湧水オブジェの数で日本一にしてはどうか。一大観光スポットや観光ルートになると思うが。

A　身近なものでもひと工夫すればクローズアップされる。商店街や若者の団体にアイデアの呼び掛けはできると思う。

Q　島原でできそうな「日本一」の企画を募集してはどうか。

A　まず主体的に市民や子供たち、議員の皆様から声を寄せてもらうことが大事だと思う。

問　もし「Jアラート」（全国瞬時警報システム）が鳴った時、市民はどうすればいいのか

Q　子供の保護・避難・帰宅等の体制は大丈夫か。

A　年度当初校長会で国からの情報を提供した。ミサイル発射の第一報で建物内への避難が基本。近隣に建物がなければ物陰に身を隠すなど、改めて子供たちの指導に取り組みたい。

Q　市民の取るべき行動は。

A　サイレンが鳴ればまず屋内へ避難し、また窓際から離れるようにお願いしたい。

Q　事前にJアラートのサイレン音を試聴できないか。

A　防災訓練等で鳴らせないか、関係機関に問い合わせてみたい。

問　シェアリングエコノミーについて

Q　今後、観光サービスへの展開はどう考えているのか。

A　島原城で車泊オートキャンプの実証実験が始まる。今後も総務省にお願いしながら積極的に関わっていきたい。